

復興公営住宅の建設も進み、徐々に住民の移転が開始されていますが、「終の棲家」ともいえる復興公営住宅でのコミュニティづくりは、今後数十年スパンで影響が出てくるテーマとなります。

「地域福祉」の視点や、他地区（仙台市など）の事例を通じてこれからのコミュニティ支援のあり方を他の参加者とともに考える勉強会を開催します。



復興公営住宅移転後の コミュニティ支援勉強会

～これからのコミュニティを、ともに考える～

■日時：3月20日（金） 13:15～17:00

■場所：石巻市河北総合センター ビッグバン 集いの部屋

■対象者：コミュニティ支援に関わるNPO団体職員など

※行政職員、社協職員などもオブザーブ参加可

■定員：30名

■プログラム：

<第1部> 話題提供・事例共有

「震災後の新しい住まいとコミュニティづくり～地域みんなの取り組みと役割～」

スピーカー：宮城県サポートセンター支援事務所アドバイザー 本間照雄氏
浜上 章氏

<第2部> 参加者グループワーク

「復興公営住宅のコミュニティ支援において、私たちの果たせる役割は何か？（仮）」

■申込：件名を「コミュニティ支援勉強会参加申込」としたうえで、
①所属・役職、②お名前、③連絡先（アドレス、携帯電話）の3点を明記の上、
下記メールアドレスまでご連絡ください。〆切：3月18日（水）

■申込・問合せ：みやぎ連携復興センター（担当：中沢）

[E-mail:renpuku@gmail.com](mailto:renpuku@gmail.com) [Tel:022-748-4550](tel:022-748-4550)

■主催：みやぎ連携復興センター